

○2番（広田 久男君） それでは一般質問通告書で提示しました5つの質問があるんですけど、一つ目は、新産業創造プロジェクト、マメマチプロジェクトのことについて。それから2つ目は、東員町の駅前を活性化できないかという質問。3つ目は、東員町の朝日ガスエナジー東員スタジアム、あそこの駐車場のこと。4つ目に、役場の前の道路の歩道、すごい狭いなということの質問。それから5つ目に、役場と文化センターの敷地内、それから特に外の歩道ですね。あの辺りの清掃をどうとするんやという5つの質問について、今から一つずつ質問させていただきます。

ちょっと息苦しいので、マスクを取らせてもらってよろしいでしょうか、議長。

○議長（水谷 喜和君） はい、どうぞ。

○2番（広田 久男君） まず1番目ですけど、本町の総合計画、それからまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げている農業の振興ということに関してお伺いします。本町では農業を核としたまちづくりを推進するために大豆を特産品にしてまちを活性化しようと、マメマチプロジェクトを進めております。そこで質問ですけど、これまでの実績、年度別に、耕作面積とか生産量、それから販売実績。それから今年、もう今収穫しておるところなんですけれども、今年はどれぐらいの見込みがあるのか。それから併せて、来年、令和3年度はどういう計画をしておるのか、簡単に、そして分かりやすく教えてほしいと思います。

それから2つ目の質問はプロジェクトの計画ですね。将来計画は栽培から加工、販売まで仕組みを整えるという構想なんですけれども、現時点でその進捗はどのぐらい進んでいるのか。

2つ質問しますけど、一つずつ分けてでもいいのでご答弁の方、お願いします。

○議長（水谷 喜和君） 水谷俊郎町長。

○町長（水谷 俊郎君） マメマチプロジェクトについてお答えさせていただきます。本町は基本的には都市近郊農業のまちでございまして、行政面積の3分の1、約700haが農地です。しかし、現在はこの農地を有効に活用した農業経営とはなっておらず、後継者不足や農地の荒廃、耕作放棄地の拡大というものが危惧されております。本町の農業振興には、若い人の参入が必須条件であると考えておりますが、そのためには若者が農業に参入したいという魅力、それから所得、そういった環境づくりが必要だと考えております。持続可能な農業の取り組みは、本町の将来を左右する大きな課題だと考えております。

本町の体制といたしましても、来年度には、農業の専門知識、現場での経験を持った職員を採用し、本町の農業の課題にしっかりと取り組めるよう考えております。ま

た、農業を魅力あるものに変えていくことで、若者はもちろん、女性や障がい者の働く場の創出に繋がっていくものということも考えております。

こうした中、まず第一弾として大豆による「TOINマメマチPROJECT」に取り組んでおります。この事業では、優れた加工技術や販売実績を有する企業及び町内農業法人2社と町とが連携をいたしまして、大豆の生産から加工・流通・販売までを町内で一元的に完結できる6次産業化を目指しております。

事業の進捗につきましては、本事業の根幹である新しい大豆の品種「ななほまれ」の栽培を、町内農業法人2社で、平成30年度は6ha、昨年度は10haに取り組んでいただきました。しかし、過去2年とも異常気象の影響を受けて、事業の実証試験栽培としての必要な収穫が得られず、また本町における「ななほまれ」の10a当たり収穫量の検証が行えない状況となりました。本年度は、栽培面積をさらに拡大して取り組む予定でございましたが、ご承知のように、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、確保していた販路の先行きが見えない状況となっておりますので、栽培面積を2haに縮小いたしまして、引き続き平均反収量と安定生産が可能となるよう、栽培技術の確立に取り組んでおります。縮小された栽培面積については、需要のある在来の品種などに変更いたしまして、農家の収入が確保できるよう対応いたしております。

7月には、長野県松本市にあります「ななほまれ」の栽培実績がある農業法人を訪問いたしまして、栽培に取り組む農業者や企業も参加して、栽培方法などの研修を行い、栽培技術の向上に努めております。なお、今年度の生産量などにつきましては、既に収穫は終えておるのでございますが、選別や検査等の作業がありまして、それが完了した後に、収穫量の確定がなされる予定になっております。

また、大豆による6次産業化事業を町内で試験的に開始するため、施設の老朽化に伴って活用を停止いたしております、町の農産物加工処理センターを改修いたしまして、再活用することを考えております。連携して事業に取り組む企業及び町内農業法人2社を中心に、大豆の商品開発や研究、また豆腐や油揚げなどの加工場とすることを検討いたしております。

いずれにいたしましても、今後の事業推進につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が大きくあることから、需要と供給のバランスをしっかりと調整するとともに、新しい生活様式に対応するような新しい商品開発など、「TOINマメマチPROJECT」としての推進をまいります。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ありがとうございます。あまり収穫が芳しくないのは自分も見ていて分かるんですけど、確かに、大豆産業をこうやって一つ農業でするんやというテーマと、これの取り組みはいいと思うんです。ただ、自分も農業を少しずつやっておるので、なかなかすぐに芽が出るものじゃないのはよく承知しているんですけど、何も見えてこないんですよ。その2法人さんが一生懸命やっておるといふ話をこうやって町長さんから聞くだけで、農業をしておる他の者が、「さあ、何をしとるんやろうな」という感じなので、もう少し東員町で農業しておる人たちも元気づけるように発信してほしいと思いますが、その辺の町民に対してのアピールが少ないと思うんですけども、いかがお考えでしょうか。教えてください。

○議長（水谷 喜和君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 実際、150haぐらいの大豆の栽培面積があるんですが、ほとんどが「フクユタカ」であります。「フクユタカ」でいけるものならいいんですが、やはり東員町は大豆が後発なので、特徴を出していかなあかんということで「ななほまれ」という、あるいはもう1種類、2種類考えているんですが、やはり東員町独自のものということにこだわっていきたいということで、この「ななほまれ」の栽培を始めています。ですが、おとしは日照りで壊滅的な状態、去年はうまくいっていたんですよ。9月初めまで。だけど9月4日の大雨でどっぷりつかってしまって、もう全然駄目になった。今年は結構うまくいったんですが、先ほど言いましたように、コロナの影響で販売先が買ってくれない状況になっていますので、増やせない。ですから2haということで、ただ一応目標にしています反収当たりどれだけ取れるねんとか、そういうものは分かると思います。

それともう一つは、先ほど言いました、農産物加工センターを改修してやっていこうというのを今年やりたかったんです。やる予定だったんですが、これもコロナで延びてしまったというような状況があって、その今年1年は本当にコロナの影響がすごくて、何もできなかったという状況があります。このまま座して死を待つということではなくて、ぜひ来年には町民の皆さんに目に見える形でやっていきたいというふうに思っています。ちょっとそのアピールの方法も考えていこうと思っています。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） やっぱり販路がないということもあるかもしれませんが、やっぱり東員町で作ったやつをまず、町民の人がこんないいもの作るとるんやでというのを先にアピールしたほうがいいかなと思うんですよ。だから外に販路を開くんじゃなくて、役場とか関係するところで作った大豆を町民の人に食べてもらっ

て、これはうまいなって言って、まず町を元気にしたいはずなので、町民の人にできたものを味わってもらおうように。今年はできないということなので、来年、加工センターを含めて弾みをつけてほしいと思いますので、ぜひ町長の声を今聞きましたので、よろしくをお願いします。

質問を欲張ったので次にいきます。2つ目、東員町駅前の活性化ということで、先月なんですけどもたくさん東員町の駅前にコスモス畑の見学に休日、平日問わず、たくさん人が来てくれていました。でも駅前なのに何もないと。東員駅前が地域拠点にしようという位置付けで、今後もずっと開発チャンスがあればといいますか、しようとしているのに、いまだ何も、ああいった見てのとおり状態なので、せめて、ふだん駅の利用客が少ないかもしれませんが、いずみのパンとてもおいしいです。それから猪名部のジンジャエールというのもあります。その他各種農産物などの地産品のPRショップみたいなものを、仮設程度のもので構いませんけど、何か設けてみてはどうかなど。そうすると東員駅前がちょっと変化する。町として元気づげができるようなきっかけになるんじゃないかなと思います、何か考えがあるならご答弁の方をお願いします。

○議長（水谷 喜和君） 水谷俊郎町長。

○町長（水谷 俊郎君） 東員駅前の土地の有効活用についてのご質問を頂きましたので。お答えさせていただきます。今年は、東員駅前にコスモスが咲き誇りまして、東海ウォーカーという雑誌でも紹介されましたことから、町内外から、たくさんの皆様が見学に訪れていただきました。しかし、この取り組みには、町あるいは町民が稼げる仕組みは全くありませんで、せっかくの稼げる可能性のある機会を逃しているのではないかと考えております。これからは、だれのためにやるのか、何のためにやるのか、などを明確にして、取り組んでいかなければならないと考えております。

さて、ご質問の東員駅周辺の土地の有効活用についてでございますが、北勢線沿線でも乗降客が多い東員駅は、周辺が農業振興地域の農用地となっていることから、開発が難しい状況にあります。数年前、ここを本町の核となるような開発計画を、国・県の指導を受けながら進めてまいりましたが、県のマスタープランの見直しにより、このマスタープランの見直しというのは、新しく人口を増やすための住宅を伴う開発は三重県全圏でできなくなりました。そういうことから断念せざるを得ないという、そんな残念な結果になりました。今後、当分の間、このエリアの開発は難しいものと考えておりますが、県の、今言いましたマスタープランの中に、当該地域が本町の拠点地域としての位置付けが残されましたことから、将来的な開発の可能性は残ったも

のと考えております。

また、現在進めております「TOINマメマチPROJECT」の取り組みの一環として、将来的に拠点となる施設整備の場所に、東員駅前周辺を活用するというのも一つの方法ではないかと事業者とともに今検討をいたしておるところでございます。

議員ご提案の東員駅前でのアンテナショップ的な施設につきましても、当該地に規制の枠がはまっているため、国や県との協議が必要であり、短時間で結論が出るものではないと考えております。いずれにいたしましても、東員駅周辺エリアは、本町にとって大変重要なポテンシャルを持ったエリアでありますので、少し時間はかかるかもしれませんが、粘り強く関係機関との協議を進め、本町の核としての位置付けを持った、持続可能な取り組みを進めてまいりたいと考えてておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ありがとうございます。自分が思っているのは、大々的な開発という規模のものじゃなくて、例えば、掘っ建て小屋と言ったらおかしいけど、JRの荷物用のコンテナ、トラックが後ろに積んでいるコンテナみたいな移動式のものでも構わないんですけど、そんなもので、例えばフリーマーケットをしたい人がそこをちょっと借りて何か催しをすとか、ちょっとパンを焼いたとか、個人的にこんなことをしてみたいというような、そういう町民の人が1日借りてちょっとやる。あるいは収穫時期にはキャベツとか野菜ものをちょっと売るような、何かあそこはせっかく乗り降りをするとかおっしゃっていたので、何かあそこをもう少し人が集まってこられるような場所にしたらいいんじゃないかなという思いなんですけど、それでもやっぱり規制、県とかあるんですかね。その辺はどうですか、教えてください。

○議長（水谷 喜和君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 駐車場の中でやってもらう分には構わないんですが、それはやっぱり駐車スペースの問題もありますので、どうしても駅前の目の前の農地ということになりますと、これはもう規制がありますので、今おっしゃったことでも規制の枠にはまっていますので、やっぱり協議が必要となってきます。協議するとなかなか難しいということがありまして、いずれにしろ、根本的に考えていかなければならないというふうに思っております。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） 何かそうやって言うと、今、総合計画とかいろいろ出ているんやけど、絵に描いた餅になったらあかんで、もっともっとやる気になって、

関係の行政の人が早く進めるような勢いをもってやってほしいんやけど、その意気込みが感じられないんですけど、どうですかね。

○議長（水谷 喜和君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 実は、今ちょっと答弁の中にもありましたけど、マメマチプロジェクトの中でそういう案も出ていまして、その中には販売みたいなものも入っています。だからそういう計画をまず進めていきたいなど。農業振興のためのそういう施設だから、国・県もいろいろ考えてくれるのではないかなというふうに思っていますので、これからまず進めていきたいというふうに思っています。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ひそかなうちに町長がこんな弱気な人と違うのはよく知っていますので、がんがん県の方にも攻めて、早いこと町が元気に、活気づくように、ぜひとも手腕をふるってほしいと思います。よろしくお願いします。

続いて3つ目の質問にいきます。朝日ガスエナジー東員スタジアムの駐車場ですけど、残念ながら、先週の高知ユナイテッドの試合で0-1で敗れて、今シーズンは残念ながら念願のJ3への昇格には至らなかったです。楽しみは来年に残しておいてくれたんだと思います。

そこで質問なんですけれども、あそこの競技場にどれぐらいの観客数が来るのを見込んでおるのか。その来場者の車両数、どれぐらい来ると見込んでおるのか。最高はどれぐらいなのかですね。あとその見込みに対して、現状の駐車場で対応ができていくのかということ。もしそれができていないのであれば、その対応策について考えがあればお伺いしたいと思いますので、ご答弁をお願いします。

○議長（水谷 喜和君） 水谷俊郎町長。

○町長（水谷 俊郎君） サッカー場の駐車場整備につきましてお答えさせていただきたいと思います。本年度よりJFLに所属し、三重県初のJリーグ入りを目指すヴィアティン三重のホームグラウンドとして、本町の陸上競技場が活用されることとなりまして、ヴィアティン三重ファミリークラブと指定管理の協定を締結いたしました。ヴィアティン三重は、今年、スタジアムをJ3規格に合ったものに改修いたしました。さらにJ3ライセンスを獲得したことから、今年の成績いかんではJ3昇格が可能でしたが、今、ご案内のように、残念ながら僅かに届きませんでした。昇格は来年度以降に持ち越しということになってしまいました。昇格の条件として、成績は当然なんですけど、他にも、今年はコロナでなかったんですが、1試合平均2,000人以上の観客動員が必要となります。それだけの観客に来ていただくと、

現況、スタジアム周辺の駐車可能スペースでは厳しいものがあると考えております。これ単独でしたらいいんですが、他のイベントとかが重なった場合はもう本当に厳しいものがあると思います。また、いずれJ3へ昇格したときには、それ以上の数の集客が見込まれておりますので、駐車場が足りなくなることは必定でございます。サポーターの皆様には、できるだけ公共交通機関をご利用いただくようお願い申し上げますが、駐車場整備につきましても早急に検討しなければならないと考えております。

いずれにいたしましても、ヴィアティン三重が本町をホームタウンとしたチームとなり、そのことを背負って全国で戦っていくわけでございますので、私たちは、ヴィアティン三重をしっかりと応援し、東員町のチームが全国区になって、東員町の名を発信していただければなと思っております。

本町といたしましても、ヴィアティン三重が1年でも早くJ3昇格を果たし、全国で活躍してくれることを願ひまして、駐車場整備をはじめ、そのための環境整備につきましても支援をしっかりとやっていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ありがとうございます。今の町長の発言で大体満足いくお答えを頂いたと思います。ただ、見に行きました。J3のその高知との試合を、駐車場はどのぐらい混むかな、観戦に来てくれる人はどれぐらいおるかなと思って、自転車で回りました。思ったのは、やっぱり今のままでは駐車場が分かりにくいんですよね。どう言ったらいいんや、陸上競技場の付近まで来て、ガードマンの人が一人一人説明するんですわ。役場へ行ってくれとか、文化ホールのところにも臨時駐車場がありますからと、全く看板も出ていない。あれぐらいしかできないのかもしれないけど、そのときの状況です。それからエバ工業のところを臨時駐車場にしておるんやけど、試合が始まって30分ぐらいした後にもう一遍回ってきたんですけど、文化ホールの裏、今、もう木を壊した芝生のところも増設の駐車場にしてあってんけど、空いているんですわ。アスファルトのところも空いている。逆にエバ工業の方に20台、30台車が止まっておって、そこからヴィアティンの車で送り迎えをしておる。せっかく来た人たちが駐車場でまいまいしとらへんかなと思って、その辺、今すぐ、直ちに、来年からでも、もっと東員町も一緒に協力したって、せっかく来てくれる、せっかくいい交流の場なので、何か対策を考えてやらなあかんと思いますので、見に行った人もいると思いますが、その辺注意しながら活動というか、行動をしてほしいんですけども、その辺は考えられましたか。ちょっと質問です。

○議長（水谷 喜和君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 今ご指摘の、分かりやすい看板を設置するという事は一つの方法かなというふうに思っていますので、できるだけ大きな分かりやすい、ここにこうありますよというような看板というのも考えていかなあかなというふうに思っております。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） 1回行っただけでいろいろと自分も思うことがあったので、役場の皆さん、特に管理職のここにおる皆さんも、小さいことを一つ一つでいいので問題意識を持って、町のため、来てくださる人のため、少しでも気づいて改善を一つ一つやってほしいと思いますので、その辺の所感を町長から一言お願いしたいんですけども。

○議長（水谷 喜和君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 確かにいろんな問題点はまだ、今年初めてなんで出てくるというふうに思っておりましたし、実際に駐車場の問題については問題意識を持っていましたので、これから、今ご提案もありましたように、分かりやすくするための看板というのも検討材料の一つかなというふうに思っていますので、よく検討をさせていただきたいと思います。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ありがとうございます。ぜひサッカーを盛り上げていきたいし、町を盛り上げていきたいのでよろしくお願いします。

4つ目の質問です。役場の前の道路なんですけれども、歩道が極端に狭いなど思っています。本当にこれでいいのかなと。さっきのサッカーの試合のときもそうなんですけど、東員駅からや、それからこの役場も臨時駐車場からサッカーを見に行く人たちの通行路にもなります。それから将来、第一中学校ができると、自転車専用路もこの前に必要になってくるかなと思います。役場の緑地を削ってでも、北側の道ですけども、歩道を拡幅してはどうかと、道路1車線ぐらいの広い歩道があるのがいいんじゃないかなと思います。その辺の考えをお伺いしたいと思います。

○議長（水谷 喜和君） 伊藤徳孝建設課長。

○建設課長（伊藤 徳孝君） 役場前の歩道についてあらゆる面から、また東員第一中学校の移転を見据えた役場北道路、町道瀬古泉北大社線の歩道拡幅についてお答えいたします。現在、役場北の歩道は、延長約300m、幅員約1.5mで、自転車の通行は基本的にできません。また今後を見据え、中学校に対して生徒の登下校時



の安全対策として、役場の敷地を利用して歩道を拡幅し、自転車も通行可能な歩道にすることは有効な対策の一つと考えます。

しかし、仮に歩道を拡幅する場合、役場西に設置の消防用ホース乾燥塔、保健福祉センター及び勤労者福祉会館などの歩道との離隔距離や施設の埋設管の移設等も勘案する必要があり、場合によっては相当な事業費がかかることも予想できます。

いずれにいたしましても、今後、中学校移転も視野に入れ、新たな通学路の安全対策も含め、教育委員会等関係部署と、議員ご提案の役場前の歩道拡幅の整備も含め、総合的に検討してまいりたいと考えますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ありがとうございます。やっぱり大事なやということ、どうにかしていかなあかんということは分かりました。ただ、いつまでにどうしなあかんのやというのは見えてこなあかんのですわ。一中もできるんだし、ただできえあそこは自転車で役場へ行こうと思ったら危ないですわね。サッカーで東員駅から降りた人も今でも危ないですわね。これから検討してまいりますという答えだけではなくて、もう少し踏み込んで答えをもらいたいと思います。それから考えていないのは、車椅子、あれは全然通れないと思うんですよね、段差があつて。その辺も考えて、いつまでに、あるいはどういうふうなスケジュールでやるかというところをもう少し、できるなら答えてほしいんですけど、よろしくお願いします。

○議長（水谷 喜和君） 伊藤建設課長。

○建設課長（伊藤 徳孝君） 確かに役場の前、ご存じのように狭い状況となります。いろんなことも検討する必要があると思います。特に中学校も含めてなんですけども、ただ役場前の歩道のルートを広げることにつきまして、先ほど申し上げたように、費用的なものも勘案していかないかんというところもありますし、また別のルート、例えば戸上川に架かる丸山橋、役場の西の橋を渡って、それをちょっと北に上って、福祉センターの裏へ通じるもう1本北の東西の道、あそこも法面を拡幅するなどして自転車、歩行者が通れるようなルートの確保というのも、これは私の考えですけど、一つあると思いますし、もう一つは丸山橋を役場方面に渡ってから左側に相当広いゼブラ敷地があります。あそこも利用して役場の北の駐車場を北に抜けてということもあるんじゃないかなと。

それから検討の時期でございますけども、これは役場の施設の取り合いですね。拡幅したときの。それから事業費等、またそういった事業をやるに当たっては単費とい

うのはなかなか難しいと思います。そういった交付金等があればそういったものも利用していきたいと考えますので、ちょっと、いましばらく検討する時間を頂きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） 答えにくいことだと思うんですけど、ぜひ令和3年ぐらいで何か回答してもらえませんか。どうですか。

○議長（水谷 喜和君） 伊藤課長。

○建設課長（伊藤 徳孝君） 今ご提案いただいたことを念頭に、そういったこともまた検討していきたい。その方向で考えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） ぜひ令和3年度に、こういうふうにしていきたいという構想と、それから計画、時系列の計画を提案してほしいなと思いますので。これは何でと言うと、やっぱり中部公園に行ったり、競技場へ行くのにも東員駅から道ができればね、絶対に必要だと思うので、ぜひお願いします。全体を考えていけば繋がってくると思いますのでお願いします。

じゃあ次の質問にいきます。役場とそれから文化センターの敷地と周辺の歩道の掃除の話なんですけれども、大方散ってしまったんですけれども、先月あたりからすごい落ち葉が多かったです。役場とその文化センターの敷地の中もそうやし、それから特に歩道なんですけれども、落ち葉が散乱したままになっていると。車で通りかかるといつも落ち葉がたくさん落ちておるので気になりました。

そこで質問なんですけれども、庁舎の敷地の清掃、それから特に歩道なんですけれどもその辺の清掃というのはどういうふうにしておるのか。先月の話なんですけど、すごい落ち葉が気になっているんですけれど、その問題意識というのはどなたもないのかなと、その辺について少しご答弁をお願いします。

○議長（水谷 喜和君） 岡本幸宏総務課長。

○総務課長（岡本 幸宏君） 広田議員の5点目の、役場及び文化センター敷地内外の清掃についてのご質問にお答えいたします。庁舎敷地内や駐車場周辺には、ケヤキなどの落葉樹がございます。議員ご指摘のとおり、この季節には多くの落ち葉が、庁舎の駐車場や周辺道路へ落ちていることは認識いたしているところでございます。

まず今年取り組みといたしまして、特に庁舎内の清掃につきまして、このコロナ感染症対策といたしまして、来客用窓口や事務所周辺を中心に、全課で毎朝、清掃と

消毒に、今年は取り組んでいるところでございます。そして、ご指摘の庁舎駐車場やその周辺の清掃につきましては、定期的に総務課職員や文化センターの担当職員で行っておりますが、夏の雑草の状況や、冬の落ち葉などの状況を見ながら、お盆前や年末などに庁内全課に協力を得て清掃を実施いたしているところでございます。

本年も年末前に落ち葉の状況を見て実施する予定でございます。ただし、原因となります樹木の本数が多く、常時、落ち葉のない状態を維持することが困難である現状にもございます。落ち葉の原因となります高木につきましては、これまでは枝葉の剪定を行い、維持管理を行ってまいりましたが、3年ほど前からは、高木の中でも落葉樹を中心に伐倒を実施いたしております。

今後につきましても、毎年計画的に伐倒を行うことで、少しずつではございますが落ち葉の問題を解消するとともに、定期的な清掃につきまして、状況を見ながら全体で継続していくことで、庁舎施設の最適な維持管理を行ってまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） 自分もずっと会社勤めをしていましたので思っているんですけど、いくつになっても学習です。我々社員は簡単に3S、3Sって最初言っていたんです。整理・整頓・清掃ですね。これはもう会社生活を送っていく中の基本中の基本なんですね。ちょっとでも汚れておったり、あるいは片付いていないときは、ちょっとの合間を見ても掃除する。ほうきとちりとりをもって掃除する。一人がやりだしたらみんなやってくれるんですね、仕事している人は別として。そんなこともやっぱりして行ってほしいな。一人一人が自分らの大切な職場なんだから、駐車場とか道路も含めて、汚いなと思ったらやるような人になってほしいなと思います。

パトロールなんてやっていませんか、掃除はどうか、ちゃんとなつとるか、その辺、やっているかやっておらんか教えてもらえませんか。

○議長（水谷 喜和君） 岡本課長。

○総務課長（岡本 幸宏君） お答えいたします。パトロールということは行ってはいないところなんですけども、4月からこのコロナ禍でやはり清掃が大事である、また清潔にするための消毒というのが最も大事であるということ認識すべきであるということで、4月からは全課に課長として各課でどういった対応が必要かということ考えながら取り組んでほしいということでお願いをしまして、毎朝、夕方ではなくて、毎朝やろうということで呼びかけをしました。その中でやっぱり主体性が必要でありますし、自分事であるということが最も気持ちの中で必要であるかというの

と、さらにやっぱりモチベーションに繋がっていかないといけないかなというところで、そういった考え方から、それぞれでしっかり取り組もうということで呼びかけをしておるところでございます。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） モチベーションは本当に大事なので、自分の提案で申し訳ないんですけども、4Sとって、Sの4つ目にしつけとあるんですね。管理職員がパトロールしておってあまり効果が上がらん。若い職員同士が持ち回りでチェックシート、どこを点検するかというのを書いておいて、例えば1階の廊下、ゴミオーケーとかね、こう目標をつくっておけばだれでもチェックできるので、そういう若手職員同士でそういう気づかせることをしていくと、シートベルトと一緒に、最初は嫌かも分らんけど、1年、2年続けていけば当たり前になってくるんですよ。そうやってするのが当たり前になっていけば、いろんなところで気づいていきますのでぜひともそんなふうにして相互チェックをしながら、なおかつ、何か指摘したらどうするかという対応策を出させて、1週間以内やりますなんて、掃除ならそれだけです。片付けますでも簡単なことなので、ぜひしつけづけを職員同士でやっていくようにしてほしいなと思います。

いろいろ言いましたけど、やっぱりやる気と元気、もう一つは住民の皆さんが来たら笑顔で迎えてくれるようなところも、単純な掃除作業とかきれいにする作業やけども、それをモチベーションを上げて朝にやるとおっしゃったので、ぜひやっていけば、そんなのは高揚していくと思いますから、ぜひすぐにでも実践して行ってほしいと思いますので、ぜひ最後に意気込みをお願いします。

○議長（水谷 喜和君） 岡本課長。

○総務課長（岡本 幸宏君） 役場庁舎内をきれいにして、清潔にして、感染からも対策に応じるというのは最もなことをごさいますて、そこはやっぱり職員もしっかり自覚して進めていくことが対策と清潔を保つことに繋がると思いますので、しっかり持続できるように、しっかりと今ご提案いただいたことも参考に取り組んでいきたいと思えます。

○議長（水谷 喜和君） 広田議員。

○2番（広田 久男君） 質問を5つやらせてもらいました。何を言いたいかというと、やっぱりコロナ、コロナですごい自粛ムードで閉塞感が強いんですけど、注意をしながらでもやっぱりやることはきちっとやって、元気にやっていきたいと、それが我々議会の方でもそうですし、執行部、役場の方もそうなので、元気を忘れず

に、ぜひ年末と来年頑張っ、前向きにいけるようにと思いましたので、ちょっと質問多かったですけどやらせてもらいました。

本当にありがとうございました。以上です。もう終わります。